**(中堅－保育者用)**

【様式１－２】**幼稚園・認定こども園中堅教諭等における評価〈研修後〉**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研修者番号 | 園　名 | 中堅者名 | 園 長 名 |
| 　　 |  |  | 公印 |

Ａ：十分満たしている　Ｂ：満たしている　Ｃ：やや努力を要する　Ｄ：努力を要する

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 評　　　価　　　項　　　目 | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ |
| 指導力向上に向けての自己診断 | 計画 | ①個々の幼児の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している。 |  |  |  |  |
| ②日々の保育の記録をとり、援助が適切であったかを振り返るとともに、次の指導計画（週・日案）に生かしている。 |  |  |  |  |
| 環境の設定 | ①子どもの主体性とねらいとのバランスを考えて、環境の構成を工夫している。 |  |  |  |  |
| ②子どもの発想や願いを受け止め、子どもと共に環境を整えている。 |  |  |  |  |
| ③家庭や地域での遊びや生活も考慮し、地域の人的・物的資源を活用しながら環境を整えている。 |  |  |  |  |
| 教育の方法・展開 | ①一人一人の特性や発達を捉え、その子らしさを大切にした援助をしている。 |  |  |  |  |
| ②様々な実践の中で、状況に応じた柔軟な指導ができている。 |  |  |  |  |
| ③教育課程などを十分に理解し、育ちに沿ったねらいのもと、援助を工夫している。 |  |  |  |  |
| ④領域等のねらいを踏まえ、年間を通して計画的に保育を進めている。 |  |  |  |  |
| ⑤記録を通してその子らしさを生かした適切な援助であったかを保育のねらいとともに振り返っている。 |  |  |  |  |
| 園の運営力・組織貢献力・その他に関する自己診断 |  | ①幼児一人一人が自己発揮をし、お互いを大切にすることができる学級である。 |  |  |  |  |
| ②施設設備の安全管理、幼児への安全指導が万全である。 |  |  |  |  |
| 保護者への対応学級経営 | ①個々の幼児の生活の様子を把握し、教育・保育に生かすよう、家庭との連携を深めている。 |  |  |  |  |
| ②保護者と話す機会を多くし、教育・保育に生かすとともに子育ての相談相手となっている。 |  |  |  |  |
| ③事故、問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が適切である。 |  |  |  |  |
| 地域・保幼こ小連携 | ①連携の必要性を理解し、学びや発達を見通した計画に沿って実施・参加し、内容の充実に向けた話し合いをしている。（子ども同士や職員同士の交流） |  |  |  |  |
| ②幼児期の終わりまでに身に付けたい力を意識した各年齢における経験や育ちを把握した保育を展開している。 |  |  |  |  |
| ③園庭開放や体験保育等に参加した地域の保護者に対して、親しみをもって応じ、安心して気持ちよく利用できるような雰囲気づくりができる。 |  |  |  |  |
| 園務分掌 | ①園全体の運営方針・目標を把握し、職務全般に反映させている。 |  |  |  |  |
| ②担当分掌を責任もって遂行するとともに、新たなアイディアをもって改善や提言をしている。 |  |  |  |  |
| 職員間の連携 | ①自ら進んで園務の遂行を図り、連携の要となっている。 |  |  |  |  |
| ②必要に応じて上司に報告、連絡、相談し、円滑に園務を遂行できるようにしている。 |  |  |  |  |
| 得意分野・改善したい点等 |  |
| 研修履歴または、これまで勤務した園における勤務経験　(例：研究主任、各種教育関係委員等） |  |

**(中堅－副園長等用)**

【様式１－２】**幼稚園・認定こども園中堅教諭等における評価〈研修後〉**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研修者番号 | 園　名 | 中堅者名 | 園 長 名 |
| 　　 |  |  | 公印 |

Ａ：十分満たしている　Ｂ：満たしている　Ｃ：やや努力を要する　Ｄ：努力を要する

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 評　　　価　　　項　　　目 | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ |
| 指導力向上に向けての自己診断 | 計画 | ①教育課程を自園の子どもの実態を踏まえて検証し、必要に応じて適切な見直しをしている。（カリキュラム・マネジメントの適切な実施） |  |  |  |  |
| ②指導計画の立案及び反省・評価について適切な指導・助言を行っている。 |  |  |  |  |
| 環境の構成 | ①園の特色や課題を整理しよりよい環境にしようとすることを意識している。（美的環境・保健衛生を含む） |  |  |  |  |
| ②「環境を通して行う教育」を理解し、各クラス担任の環境構成について指導的な立場でアドバイスしている。 |  |  |  |  |
| 教育の方法・展開 | ①一人一人の子どもの内面を理解し、必要に応じた支援が適切に実施されているか把握し、指導している。 |  |  |  |  |
| ②年齢や期による発達を見極め、遊びと育ちを系統的に理解し、指導している。 |  |  |  |  |
| ③園内研修や打ち合わせ等を通して、職員がねらいに沿って保育ができるよう指導している。 |  |  |  |  |
| ④障害のある子どもや集団生活において困難さをもつ子どもについて職員との連携の中で十分に把握し、園長に対して、必要な連携について提言している。 |  |  |  |  |
| 園の運営力・組織貢献力・その他に関する自己診断 | 園経営 | ①職員の事務処理を確認し、必要に応じて指導・助言ができている。 |  |  |  |  |
| ②園長と協力し、施設の管理と改革・改善を図っている。 |  |  |  |  |
| ③園長と協力し、組織の運営の管理と改革に努めている。 |  |  |  |  |
| 保護者への支援 | ①保護者が気軽に相談や意見を述べることができる環境を整えることができている。 |  |  |  |  |
| ②職員からの保護者対応の仕方や悩みなどに対して適切に助言をし、情報を共有しながら組織的な関わりに努めている。 |  |  |  |  |
| ③保護者同士がつながることの必要性について理解し、具体的な企画・運営について指示・支援ができている。 |  |  |  |  |
| 地域・保幼こ小連携 | ①地域の人的・物的資源を活用し、教育・保育に組み入れるように努めている。 |  |  |  |  |
| ②保幼こ小連携の必要性について明確に把握し、職員と一緒に具体的な計画を行い、幼児児童の交流及び職員の合同研修等を実施している。 |  |  |  |  |
| ③保育所保育指針や小学校学習指導要領についても理解し、連携・接続に関する知識を習得し、職員に助言している。 |  |  |  |  |
| 園務分掌 | ①園務において、必要な企画・立案を行い、円滑な園経営に努めている。 |  |  |  |  |
| ②職員の係りの役割が円滑に遂行されているか把握し、必要に応じて助言ができている。 |  |  |  |  |
| ③職員が研修に参加しやすい体制を整えている。 |  |  |  |  |
| 職員間の連携 | ①職員の実態を把握し、資質や能力の向上につながる助言や指導をしている。 |  |  |  |  |
| ②報告・連絡・相談を徹底している。 |  |  |  |  |
| 得意分野・改善したい点等 |  |
| 研修履歴または、これまで勤務した園における勤務経験　(例；研究主任、各種教育関係委員等）保護者への対応地域との関係 |  |